

イベントカレンダー

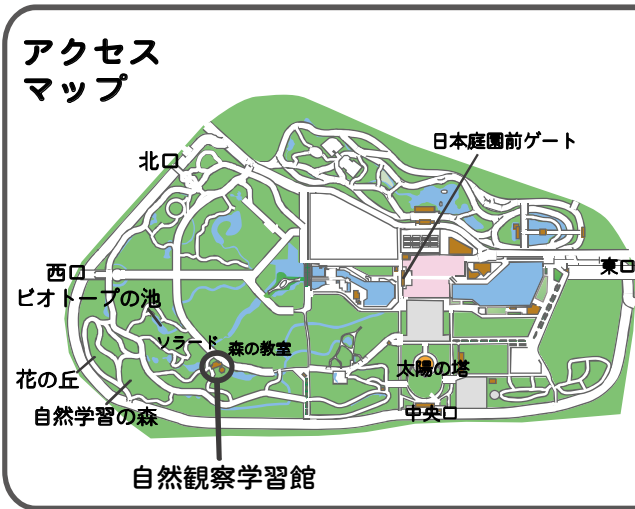
11月	2日	万博ネイチャーラリー
	8土	木や竹、木の実を使った工作
	9日	★初めての草木染め(申込終了)
	14金	季節の植物観察ガイド(6)
	15土	野鳥観察会
12月	22土	木や竹、木の実を使った工作
	23日	紅葉の観察会
	6土	★クリスマスリース作り
	12金	季節の植物観察ガイド(7)
	20土	野鳥観察会 - 冬鳥をみよう(1) -
	20土	★ミニ門松作り
21日	針葉樹の観察会	

★印は要事前申込です。
11月は無休。12月は水曜休館。
開館時間は午前10時～午後4時まで。

○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館までお問い合わせください。
○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習などの教育活動支援も行っております。

館内展示

秋の自然展	10/2(木)～11/24(月)	園内で見られる秋の植物や昆虫などを紹介
写真展示 写真で見る野鳥たち	10/2(木)～11/5(水)	園内で見られる四季の野鳥の写真展
パネル展示 森再生への取り組み	11/6(木)～平成27年3/31(火)	「自立した森」再生の取り組みについて展示
冬の自然展	11/27(木)～平成27年2/2(月)	園内で見られる冬の植物や昆虫などを紹介



～編集後記～
秋になると自然観察学習館の周辺の木々も紅葉して見ごろを迎えます。紅葉を楽しみつつ、学習館に展示してある生き物にも会いに来てくださいね。

カワセミだより Web版
万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

めざせ森の博士!!
万博チャレンジラリー(秋版)実施中

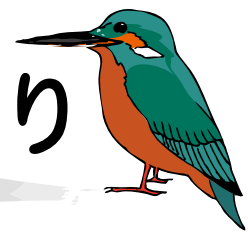
わしは森の博士。参加費は無料じゃよ。クイズを解きながら歩いて頭と体の運動もいもんじゃ。

問題用紙は自然観察学習館、各ゲートで配布しているよ。
答え合わせは自然観察学習館まで。

2014.11.01

11月号 カワセミだより

NO.104



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923
カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。



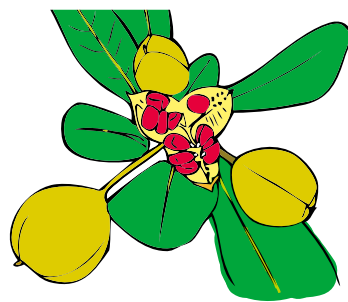
魔除けに使われたって知ってた?

トベラ

トベラはトベラ科の常緑広葉低木です。海岸付近に多く見られますが、庭木として植えられるほか、公園樹や道路の緑化帯などにも利用されます。園内では、けやきの丘などであります。これからの季節、特徴的な実が見られます。

実は自然に裂けて…

11月頃になるとトベラの実実は熟して裂けて開きます。裂けた実の中に見えるのは赤色の種です。種はベタベタする液で包まれていて光にあたるとツヤツヤに光ります。



花はどんなかおり?

葉や枝は独特のにおいのするトベラですが、花は甘い良い香りがします。トベラの開花期間は4～6月です。初めは白色の花ですが、次第に黄色に変化します。



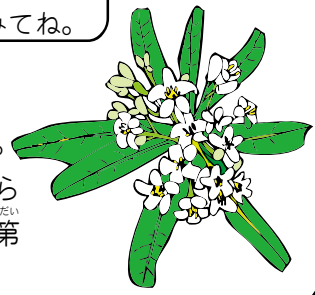
この赤色の種はヒヨドリやメジロが食べに来るよ。



春になったら花の香りをかいでみてね。

魔除けとして使われた

トベラの葉や枝は切ると独特のにおいを発します。そのことから、お正月や節分に魔除けとして扉に飾られました。この風習から「トビラノキ」と呼ばれ次第に「トベラ」という名前になりました。





はね ひら
翅を開くと

るりいろ かがや
瑠璃色の輝き！！

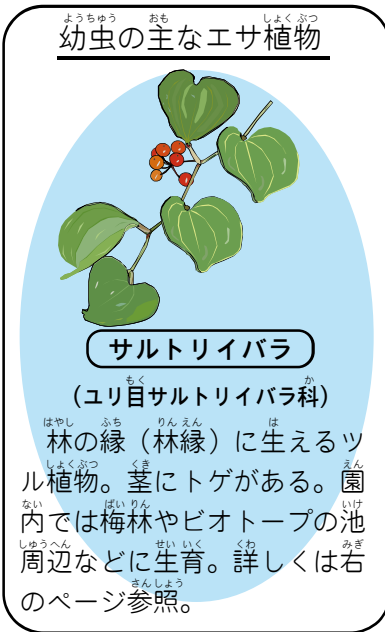
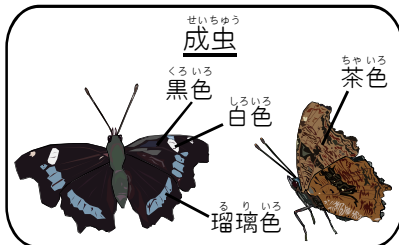
ルリタテハ (タテハチョウ科)



森に住むチョウ、ルリタテハ。このチョウは成虫で冬を越すので、11月以降でも暖かい日だと観察のチャンスがあるよ。今回は、ルリタテハと万博の森の自然環境との関係について紹介するよ。

今回の主人公

ルリタテハ とはどんなチョウ？



- ・大きさは50～65ミリ。
- ・年に数回世代交代をする。**成虫で冬越し。**
- ・成虫はクヌギなどの樹液を吸う。
- ・園内では花の丘周辺や梅林などでよく見られる。
- ・寒い時期には翅を広げて日向ぼっこをするので、瑠璃色模様を観察できるかも。

マントが育むルリタテハ

ルリタテハが住める森のキーワードのひとつ。それは「マント群落」です。右の図のように、林の縁(林縁)をマントで被ったような場所がマント群落ですが、ルリタテハの幼虫のエサ植物であるサルトリイバラはこのような場所に生育します。ちなみにクズもマント群落の構成種ですが、これはコムシジやウラギンシジミなどの幼虫の重要なエサ植物です。

マント群落

ツル植物や低木が林の縁を被うように繁茂。



好みはカブトムシに近い？

チョウのエサといえば花の蜜、というイメージがあるかもしれませんが、ルリタテハの成虫は花にはめったにやってきません。このチョウの好物はクヌギなどの樹液。今の季節だと、地面に落ちたカキに集まってくることもあります。チョウの間ですが、好みはどちらかというとカブトムシに似ているかもしれません。



マントは大切だね。

ちなみにルリタテハの幼虫は、園芸植物としてよく植えられている「ホトトギス」も食べるよ。詳しくはこちら。



ホトトギス



このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。

絶対鳴かないホトトギスって？

「鳴かぬなら鳴かせてみせようホトトギス」という句にあるホトトギスは、鳥の名称ですが植物にも同じ名前の草本があります。植物のホトトギスはユリ科で毎年夏から秋に花を咲かせる多年草です。斑点のある花びらが鳥のホトトギスのおなかの模様と似ているためこの名前がつけました。植物のホトトギスは今の時期美しい花を咲かせます。自然観察学習館周辺でも見られます。学習館の図書コーナーの図鑑で鳥のホトトギスのお腹の模様と見比べてみて下さいね。

